

令和元年度  
学校関係者評価結果報告

専門学校久留米自動車工科大学校

## 1. 学校関係者評価の目的

専門学校久留米自動車工科大学校における学校関係者評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校等、保護者、地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

## 2. 学校関係者評価委員の構成

学校関係者評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・実務に関する知識・技術・技能について知見のある企業職員 1名
- ・業界団体役員 1名
- ・卒業生 1名
- ・保護者代表 1名

## 3. 学校関係者評価の実施方法

令和2年11月18日（水）

専門学校久留米自動車工科大学校 会議室にて実施

学校関係者評価委員には事前に自己点検評価書類を配布、学校側から自己点検に関する自己評価について、自己評価時の状況と課題、課題解決へ向けた実行事例（令和元年度）と今後（令和2年度以降）の対策を説明した。

そのうえで行われた教職員との意見交換を通して得られた意見を以下にまとめる。

## 4. 各項目における学校関係者評価

\* 評価表記： 4・・・適切    3・・・ほぼ適切    2・・・やや不適切    1・・・不適切

(1) 教育理念・目標

<p><b>【事項別説明および報告】</b></p> <p><u>点検事項3：社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</u></p> <p>高度に進化する自動車整備に対し、一級自動車工学科で必須となる特定整備教育の実施に向けた教材の購入と教育方針およびカリキュラムの確立を進めている。</p> <p>令和3年度からエーミングやプログラミングなど新たな教育目標に対応する教科の構築を行うことを説明した。</p> <p>以上の説明について、各評価委員からの理解は得られた。</p> <p>他の点検事項において、特段の質疑はなかった。</p>		
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>特になし</p>		
<p><b>【点検事項】</b></p>	自己点検	学校関係者 評価
1. 学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
2. 学校おける職業教育の特色は持っているか	4	4
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
4. 学校の教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生保護者等に周知されているか	3	3
5. 学科やコースの教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4

(2) 学校運営

<p><b>【事項別説明および報告】</b></p> <p><u>点検項目1：運営方針に沿った事業計画が策定されているか</u></p> <p>事業計画（単年度の学校運営計画）の周知が十分でないことが課題である。</p> <p>各職員に事業計画データは送付しているが理解の程度は測れていない。</p> <p>今後は重要な点だけでも全員が理解し、教員・職員といった枠組みを超えた「協働」という認識を醸成することを説明した。</p>
--

<p><u>点検項目 5：教育活動等に関する情報公開が適正になされているか</u></p> <p>本校の教育活動・教育の特長とは、テキストには記載されていない実務に即した教育、実習における十分な機会を与えることで、他校よりもスキルの高い整備士とすることを目標としている。</p> <p>その教育活動を数値化し、外部へ公開できるようなデータの作成が望まれる。</p> <p>そのための方策を今後の検討課題とする。</p> <p>以上の説明および報告について、各評価委員からの理解は得られた。</p> <p>他の点検事項において、特段の質疑はなかった。</p>		
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>特になし</p>		
<p><b>【点検事項】</b></p>	自己点検	学校関係者 評価
1. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3
2. 運営組織や意思決定機能は規程等において明確化されているか	4	4
3. 運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	4	4
4. 人事等に関する規定等は整備されているか	4	4
5. 教育活動等に関する情報公開が適正になされているか	3	3
6. システム化等により業務効率化が図られているか	3	3

### (3) 教育活動

<p><b>【事項別説明および報告】</b></p> <p><u>点検項目 3：学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</u></p> <p>従来からカリキュラムは学科ごとに体系的に編成されていた。</p> <p>令和2年度からは、さらに実情に沿ったカリキュラム編成とする。</p> <p>（「パソコンの基礎」を廃止し、新たに「企業研究」を設ける）</p> <p><u>点検項目 6：授業評価の実施・評価体制はあるか</u></p> <p>学生による授業評価は年に2回、アンケート形式で実施している。</p> <p>その結果をもとに次長による各教師へのヒアリングを行い、授業改善を行っている。</p>
--

<p>以上の報告について、各評価委員からの理解は得られた。          なお、その他の点検事項については特段の質疑はなかった。</p>		
<p>【特記事項】          特になし</p>		
<p>【点検事項】</p>	自己点検	学校関係者 評価
1. 自動車業界が求める人材育成に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4	4
2. 自動車業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は明確化されているか	4	4
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	4	4
5. 関係分野の企業・関係施設等の視点に立ったカリキュラムや教育の方法の工夫・開発が実施されているか	4	4
6. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
7. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確であるか	4	4
8. 資格取得などに関する指導体制はあるか	4	4
9. 人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取組みがなされているか	4	4
11. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3

(4) 学習成果

<p>【事項別説明および報告】  <u>点検項目 1：就職率の向上が図られているか</u>          就職率としては 8 年連続で全学科 100% を達成できている。          しかしながら就職意欲の低い生徒も少なからず存在しているため、働くことの意義、</p>
---

就職することの重要性をさらに喚起する必要がある。

点検項目 2：資格取得率の向上が図られているか

残念ながら一級自動車整備資格取得連続 100%は達成できなかった。

学科試験合格率は 77.7%であったが、1 名口述試験で不合格となり最終的には 66.6%となった。

過去学科合格者で口述試験が不合格となった生徒はいなかったため、口述試験における対策授業の変化および教化が望まれる。

点検項目 3：退学率の低減が図られているか

令和元年度は平成 30 年度に比較して退学者が 1 名増加した。

(平成 30 年度 10 名、令和元年度 11 名)

しかしながら、例年であれば進級・卒業の判定時期に増加する退学者が、令和元年度は補習教育方法の改善から年度末に一気に増加することはなかった。

令和 2 年度は退学者低減の新たな方策として、実習授業参観日の曜日を変更した。

従来、平日に実施していた実習授業参観を保護者の利便性を考慮し日曜日に開催した。

これにより参加者が増加し、アンケートには全学年での実施を望む意見も散見された。

以上の説明および報告について、各評価委員からの理解は得られた。

なお、その他の点検事項については特段の質疑はなかった。

**【特記事項】**

特になし

<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
1. 就職率の向上が図られているか	4	4
2. 資格取得率の向上が図られているか	4	4
3. 退学率の低減が図られているか	3	3
4. 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
5. 卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3

(5) 学生支援

【事項別説明および報告】

点検項目 3：学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

学校独自の奨学金については従来通り、予算の範囲内で支給している。

令和2年度からは国の給付型奨学金の施行により、金銭的問題を抱える生徒の継続的な修学が可能となる環境が整う。

点検項目 4：学生の健康管理を担う組織体制はあるか

専門学校では、保健士等の常駐は義務付けられていない。

そのため当校でも専門の保険士等は雇用していない。

しかしながら、最近特に問題となっている生徒（若年者）の心的不調に対応するために臨床心理士によるカウンセリングは継続している。

点検項目 5：保護者と適切に連絡しているか

成績不良者や欠席過多の生徒については、クラス担任からその生徒の実情を詳細に綴った手書きの書面を保護者に送付するなどの対応をしている。

先述した実習授業参観を休日に実施することも保護者との連携強化のひとつである。

点検事項 7：高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか

特定の高校、高専との連携授業および連携教育は実現できていない。

当校の授業時間と教師数の関係やカリキュラムの再編など、実施に向けた問題は多岐にわたるため慎重に検討する必要がある。

以上の説明および報告について、各評価委員からの理解は得られた。

なお、その他の点検事項については特段の質疑はなかった。

【特記事項】

特になし

【点検事項】	自己点検	学校関係者 評価
1. 進路に関する支援体制は整備されているか	4	4
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3

5. 保護者と適切に連絡しているか	4	4
6. 卒業生への支援体制はあるか	4	4
7. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	3	3

(6) 教育環境

<p><b>【事項別説明および報告】</b></p> <p><u>点検項目1：施設・設備は教育上の必要十分に整備されているか</u></p> <p>教育に必要な教材や教育設備は整備されている。</p> <p>しかし、学校全体の老朽化が目立ち、大規模な施設改修を見据えた計画も必要である。後発の都市型専門学校と比較するとその古さが際立ち、イメージ戦略としては不利な状況にある。</p> <p>八女郡という立地条件の不利、イメージ戦略の不利、視覚に訴える手段が手薄なことは広報面にとって厳しい状況である。</p> <p>もはや郊外型だからこその大きなキャンパスはイメージ戦略にはなり得ない。</p> <p><u>点検項目3：防災に対する体制は整備されているか</u></p> <p>防災器具の点検および更新、全館の防災点検等は法令を遵守し適切に実施している。</p> <p>しかしながら、防災訓練が出来ていないことが課題であり、今後の実施に向け継続して検討する。</p> <p>以上の説明および報告について、各評価委員からの理解は得られた。</p> <p>なお、その他の点検事項については特段の質疑はなかった。</p>		
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>特になし</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
1. 施設・設備は教育上の必要十分に整備されているか	3	3
2. インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4	4
3. 防災に対する体制は整備されているか	3	3

(7) 学生募集

<p><b>【事項別説明および報告】</b> <u>点検項目 1：学生募集活動は、適正に行われているか</u> 生徒募集は従来の高校訪問などを中心としたマンパワー中心の広報戦略から電子情報媒体を積極的に利用した広報戦略に変更した。 また、受験生の進学意欲が高まる時期に時間を置かずに学校案内を送付するなど、適切な時期に適切な情報の提供を実施した。 ウェブ広告においても適格な分析のもと、必要に応じた金額で最大の効果が出るようにコンサルティング会社と連携して適切に広報した。 以上の説明および報告について、各評価委員からの理解を得た。 なお、その他の点検事項については特段の質疑はなかった</p>		
<p><b>【特記事項】</b> 特になし</p>		
<p><b>【点検事項】</b></p>	自己点検	学校関係者 評価
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
3. 校納金は妥当なものとなっているか	4	4

(8) 財務

<p><b>【事項別説明および報告】</b> <u>点検事項 1：中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか</u> 特記事項に示したとおり、当校の中期的財政基盤は十分とは言えない状況である。 他校においては、その法人全体の収支を公開していることから、財政基盤は安定していると理解される。 しかし、何れの学校においても定員を充足している学校は皆無であることを踏まえると、実際の収支は当校と差はないと予測できる。 中長期的に収支を安定させるためには、年間 80 名から 90 名の入学者をコンスタントに獲得することが最も重要である。 その目標にむけて教職員全員が協働するということが望まれる。 当校は学校法人久留米工業大学内の学校であるため、そのスケールメリットを生かすことで事業継続は可能であり、また事業の継続は至上命題である。</p>		
---	--	--

<p>以上の説明および報告について、各評価委員からの理解は得られた。          なお、その他の点検事項については特段の質疑はなかった</p>		
<p><b>【特記事項】</b>          他校では財政基盤は安定していると情報公開されているが、久留米自動車工科大学校はなぜ財政基盤が逼迫している結果となっているのか。</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	2	2
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
3. 財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

(9) 法令遵守

<p><b>【事項別説明および報告】</b>  <u>点検項目 2：個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</u>          個人情報については、外部業者にセキュリティを任せる形態を採用している。          厳重なセキュリティと適宜のデータバックアップで情報の流出などは抑制されているが          万全ではない。           以上の報告について、各評価委員からの理解は得られた。          なお、その他の点検事項については特段の質疑はなかった</p>		
<p><b>【特記事項】</b>          特になし</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
1. 法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
4. 自己評価結果を公開しているか	4	4